

## 産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

静岡県知事 殿

## 提出者

住所 静岡県富士市蓼原49-11

氏名 井上建設株式会社

代表取締役 井上 有之

電話番号 0545-61-4002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	井上建設株式会社
事業場の所在地	静岡県富士市蓼原49-11
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	前年度完成工事高 ¥3,920,853,326-
③ 従業員数	49名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	図1 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

図2 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排 出 量	3404.2 t	t
	(これまでに実施した取組) 現場内リサイクルの推進。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排 出 量	4000.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の発生抑制の検討、再生利用ルートの確保		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別しやすい荷姿にするよう、各現場担当に指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別収集をより推進するよう指導し、混合廃棄物の搬出量を減らす

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き産業廃棄物の再生利用を行う予定は無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) 実績無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き産業廃棄物の中間処理を行う予定は無し			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋立処分または海洋投入処分を行う予定は無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	3404.2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	738.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2848.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組) 実績のある業者へ委託			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3参照	
	全処理委託量	4000.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1200.0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3495.0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実績及び優良認定業者への優先委託を検討 ・全種類の産業廃棄物のリサイクル率を高め、減量化を目指すと共に、分別収集を徹底する		
※事務処理欄			

## 別紙1

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(単位 : t)

	産業廃棄物の種類	R5年度排出量	R6年度計画	処理方法
安定型	コンクリートがら	1535.0	2000.0	産廃処理会社に委託
	アスファルトがら	967.2	1000.0	〃
	その他がれき類	128.6	200.0	〃
	ガラス・陶磁器くず	33.3	20.0	〃
	廃プラスチック類	54.7	30.0	〃
	金属くず	24.2	25.0	〃
管理型	紙くず	7.7	10.0	〃
	木くず	109.8	300.0	〃
	繊維くず	1.0	5.0	〃
	廃石膏ボード類	54.5	50.0	〃
	混合廃棄物 (管理型)	428.2	320.0	〃
	廃電気機械器具	0.0	5.0	〃
	汚泥 (建設汚泥)	4.3	5.0	〃
	石綿含有物	55.7	30.0	〃
合計		3404.2	4000.0	

※1 廃電気機械器具 昨年度は廃棄実績無し

〈 令和6年度の目標 〉

昨年度は受注した工事において解体・撤去工事が一昨年度より減少したため、総重量の占める割合に影響しやすいがれき類(コンクリートがら、アスファルトがら)の搬出量が減少したことにより、全体の排出量も減少した結果となった。

産廃が多量に発生しやすい改修・解体工事、道路工事の受注数は年により差があるため、計画数量を昨年度の実績数量より若干多い数値に設定した。

混合廃棄物については、安定型・管理型共に目標数値を昨年度より減少させるよう各現場に分別化の指導を継続して行うこととする。

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 (令和5年度 現状)

(単位 : t)

	産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
安定型	コンクリートがら	1535.0	172.3	1535.0	0.0	0.0
	アスファルトがら	967.2	51.0	967.2	0.0	0.0
	その他がれき類	128.6	47.2	128.6	0.0	0.0
	ガラス・陶磁器くず	33.3	4.4	33.3	0.0	0.0
	廃プラスチック類	54.7	14.6	54.7	0.0	0.0
	金属くず	24.2	12.2	24.2	0.0	0.0
管理型	紙くず	7.7	2.1	6.7	0.0	0.0
	木くず	109.8	39.0	98.8	0.0	0.0
	繊維くず	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	廃石膏ボード類	54.5	32.8	0.0	0.0	0.0
	混合廃棄物 (管理型)	428.2	336.6	0.0	0.0	0.0
	廃電気機械器具	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	汚泥 (建設汚泥)	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
石綿含有物	55.7	25.7	0.0	0.0	0.0	
合計		3404.2	738.9	2848.5	0.0	0.0

## 別紙3

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 (令和6年度 計画)

(単位 : t)

	産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
安定型	コンクリートがら	2000.0	500.0	2000.0	0.0	0.0
	アスファルトがら	1000.0	200.0	1000.0	0.0	0.0
	その他がれき類	200.0	50.0	200.0	0.0	0.0
	ガラス・陶磁器くず	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	廃プラスチック類	30.0	15.0	30.0	0.0	0.0
	金属くず	25.0	10.0	25.0	0.0	0.0
管理型	紙くず	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	木くず	300.0	150.0	100.0	0.0	0.0
	繊維くず	5.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	廃石膏ボード類	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	混合廃棄物 (管理型)	320.0	200.0	100.0	0.0	0.0
	廃電気機械器具	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0
	汚泥 (建設汚泥)	5.0	3.0	5.0	0.0	0.0
石綿含有物	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	
合計	4000.0	1200.0	3495.0	0.0	0.0	